

新山口駅北地区重点エリア拠点施設整備実施計画（案）に対するご意見と市の考え方

意見提出者 13名、 提出意見 49件

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
意見者 1 (6件)	<p>「地域資源を活かした産業振興の実現」に向けて、多様な交流や産業を促進する複合的な拠点施設の整備を、「県央中核都市」の「新山口駅北地区重点エリア」で進められることは重要である。</p> <p>その中の、多目的ホール（コンベンションホール）の建設はかねてから市民の念願であり、1,000 m²（2,000 人）規模とのことであるが、山口県の陸の玄関であり、地の利の良い新山口駅周辺に建設するにあたり、他市あるいは他県に負けない、地域経済の活性化を牽引できる規模であるのかを問いたい。</p> <p>また、ホワイエの機能について、目的の場所への動線や交流を促す場として、1,000 m²を想定されているようだが、多様性に応じて活用できる使い勝手の良い場となることを望む。</p> <p>次に、「にぎわいの創造」「市民生活の質の向上」の視点を持った施設整備の中で、飲食・物販（テナント）ブースの機能コンセプトが、カフェ、レストラン、コンビニエンスストア一等としているが、地元あるいは県内の名産・特産品の販売等はいかがされるのか？</p> <p>修景整備について詳しい説明がないようだが、エリア内の生活道路の歩行空間の整備と植栽についてどのようにお考えなのか。</p> <p>歩道の街路樹の選定について、駅南地区の街路樹落葉の処理について苦情が出て、街路樹を丸坊主にして批判が出ている現状である。これらも鑑み、街路樹の選定には地元住民への配慮をお願いしたい。</p> <p>最後に、駅北整備については何かにつけ、「県の玄関口にふさわしい」と言われるが、この整備事業に約 95 億円投じるようだが、山口県が関わっていないところが気になる。国が推進する地方創生を進めるためにもこの「広域県央中核都市」を形成するためには山口県が主体となるべきではないかと思う。</p>	<p>ホールについては、「イベント機能」のほか、地域経済の活性化を目的とする「展示機能」や、域外からの交流を誘引する「コンベンション機能」を併せ持つ多目的ホールとして整備することとしており、この3つの機能展開に十分対応可能な規模であることや、一定の稼働率が見込める事業性の高い規模であること、さらに民間事業者との一体的な整備を考慮し、拠点施設全体としての事業効果が発揮できることなどを総合的に勘案した結果、2千人程度が収容可能な規模としたところであり、様々な催事に活用されることで、地域経済の活性化にも寄与できるものと考えています。</p> <p>ホワイエは、施設利用者がそれぞれの目的の場所へと移動する起点であり、たまりの場としての機能を高め、様々な交流を生み出したいと考えており、ミニコンサートや芸術作品の発表会等、市民の皆様の活動の場としてもご利用いただけるよう計画しています。</p> <p>また、県内の名産・特産品の販売について、特に土産品の販売は、新山口駅構内において既に一定の充実が図られているものと考えていますが、本市はこれまでも県内の観光情報や特産品等を発信する観光物産プラザの機能導入について県に対して要望を続けており、今後も引き続き、協議・調整を重ねてまいります。</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
		<p>次に、街路樹を含む道路の修景整備については、これまで実施した周辺街路に関する景観ワークショップなどの取組を参考にしつつ、引き続き市民の皆様のご意見を踏まえながら進めてまいります。</p> <p>なお、県の参画については、これまでも継続的に協議を重ねてきたところですが、今後も引き続き協議・調整を重ねてまいります。</p>
<p>意見者 2 (1 件)</p>	<p>今回、「地域資源を活かした産業振興の実現」に向け、複合的な拠点施設の整備を進められることは大変うれしく思います。</p> <p>ただし、山口県の陸の玄関といわれているこの地の整備事業に対し、「山口県」の姿が見えません。「県央中核都市」である「新山口駅北地区重点エリア」に、山口県が積極的にかかわっていないことに疑問を感じます。</p> <p>小郡地域で住民アンケートを行ったところ、4割以上の方が駅周辺の充実並びに大型商業施設の誘致を希望され、2割の方は企業誘致による雇用の場の拡充や若い世代の定住の推進を望んでいるとの結果が出ています。</p> <p>小郡地域は毎年人口増加の傾向にあり、市内に若い世代の定住化を図るためにはこの整備事業はひとつの起爆剤になると思っています。そのため、多目的ホール（コンベンションホール）や商業スペースの規模等が今の計画で十分に役割が果たせるのか心配です。</p> <p>せっかく、山口の玄関口に建設する施設なのですから、山口県の伝統文化や特産物をPRする場がないのはさみしく感じます。広く市民に親しまれかつ日常的ににぎわいの生まれる施設となるように、ここに来れば山口の良さがすべてわかるような仕組みづくりが出来ないかと思います。</p> <p>また、起業創業支援センターを設立されることについて、若者が新たな創造性をもったビジネスチャンスをつかめるように、大学生や高校生たちの参加型で進め、若者に夢を与えるようなセンターにしていきたいと願います。</p> <p>山口市庁舎の移転問題も考慮し、官民が連携した拠点施設を建設し、地域経済の活性化を牽引し、地方創生の戦略に一役買うような、他市・他県に劣らない複合施設整備を進めていただきたいと思っています。</p>	<p>拠点施設は、交通結節点、ネットワーク拠点という小郡地域の立地特性を生かし、多様な「交流」を促すとともに、交流によって新たな知恵や創造性が生まれ、「産業創造」や「にぎわい創造」、そして「生活文化創造」へと広がっていく仕組みづくりに取り組みものです。</p> <p>産業支援機能として設置する起業創業支援センターは、起業創業を戦略的かつ継続的に支援する機関として設置するもので、その相談業務については、対象者を居住地や年齢により制限を設けることはせず、拠点施設内に整備する、産学官連携の場である「知の創造空間」とも連携を図りながら、将来を担う若い世代を対象としたプログラム展開等について研究してまいります。</p> <p>またホールについては、「イベント機能」のほか、地域経済の活性化を目的とした「展示機能」や、域外からの交流を誘引する「コンベンション機能」の3つの機能を併せ持つ多目的ホールとして整備することとしており、その規模については、3つの機能展開に十分対応可能な規模であることや、一定の稼働率が見込める事業性の高い規模であること、さら</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
		<p>に民間事業者との一体的な整備を考慮し、拠点施設全体としての事業効果が発揮できることなどを総合的に勘案した結果、2千人程度が収容可能な多目的ホールとして整理しています。</p> <p>次に、当該エリアに対する大型商業施設の可能性については、昨年実施した調査において、現状では困難との報告を受けているところですが、官民一体となった拠点施設を整備することにより、「産業創造」や「にぎわいの創造」へとつなげていきたいと考えています。</p> <p>なお、県の参画については、これまでも継続的に協議を重ねてきており、伝統文化や特産品のPRの場となる観光物産プラザの機能導入などを要望しておりますが、今後も引き続き協議・調整を重ねてまいります。</p>
意見者3 (1件)	<p>新山口駅北地区重点エリア拠点施設整備が計画されていますが、山口県の陸の玄関口であるはずの新山口駅には、残念ながら顔がありません。「新山口駅北地区重点エリア」は地域資源を生かし、市民が納得できるように整備していただきたいと思えます。</p> <p>①エリアの中には人々が集い、憩い、交流できる場として公園を整備される計画となっていることから、まず公園には山口市の天然記念物「オゴオリザクラ」をまとまった本数を植樹します。小郡地域ではオゴオリザクラを接ぎ木して苗木を増殖しておりますが、公園に植樹した接ぎ木の苗木に芽が付き始めたものから成長していく様子がみられるように数種類の大きさの「オゴオリザクラ」を植えて、市民と一緒に成長を見守るように市民参加型の「育てる公園」にしてはどうでしょうか。「オゴオリザクラ」に囲まれるようにして『おごりん』（オゴオリザクラの妖精）の小さめの像（80cm位）を設置し、『おごりん』のおなかのハートを撫でると願いが叶うかも？是非、願いを掛けに来て下さい、というような仕掛け作りも面白いかもしれません。</p> <p>②次に、山口市に遊びに来られた方をもてなす場が新山口駅近くにないという意見もよく聞</p>	<p>小郡地域には、交通結節点という立地特性を生かし、新たな交流を生み出し、新たな産業やにぎわいの創造へとつながる仕組みを作り出すことが求められており、市では産業支援機能として起業創業支援センターを設置することとしています。</p> <p>起業創業支援センターにおける相談業務等の対象者は、居住地や年齢により制限を設けることはせず、拠点施設内に整備する、産学官連携の場である「知の創造空間」とも連携を図りながら、将来を担う若い世代を対象としたプログラム展開等について研究していきたいと考えており、若い人材が育ち、人口定住へとつながるよう取り組んでまいります。また、産業支援の取組を進める中で、新たな商品開発へと</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
	<p>きます。新幹線停車駅なのに恥ずかしいことです。飲食・物販のテナントには山口県を代表するものを一か所で食べ比べできるような店舗を誘致していただきたい。同時に出店者にも山口市の新しいシンボル（オゴオリザクラ等）をイメージした新しい商品を開発していただきたい。</p> <p>③小郡地域の住民アンケートによると、「小郡地域にこれからも住み続けたい」方が8割を超えています。しかし、若い世代の雇用の場が少なく定住したくても出来ないとの声があります。「起業創業支援センター」に起業したい学生のための特別枠を設けて、手厚い支援を行ってはどうでしょうか。条件を満たした学生にはモデルケースとして起業スペースを期間限定で提供し、後に続く学生の目標となるように。若い人材を育て、住み続けることが出来る小郡にしていきたい。</p> <p>多くの住民が小郡は治安もよく、災害も少ない、交通網も充実しているのに商業施設も産業も何もないと答えています。「小郡都市核づくり」を本気で進めるなら山口市だけではなく県も積極的に内外にアピールし、市民が本当に望んでいるような複合商業施設整備をお願いします。</p>	<p>つなげていくことも目指しているところです。</p> <p>公園整備については、人々が集い、憩い、交流できる場として、Aゾーンを含む12haの重点エリア内に整備することとしており、市民の皆様のご意見も踏まえながら検討してまいります。</p> <p>なお、複合商業施設については、昨年実施した調査において、当該エリアへの展開は現状では困難との報告を受けているところです。</p>
意見者 4 (1件)	<p>この事業計画の必要性について、市内にはYCAM、市民会館などの公共の施設が存在していることとの整合性をどのように説明するのか。</p> <p>また、これらの施設の収支決算は如何であるのか。更にこの計画を前進させた場合の収支はどのようになるのか。などを把握しているのか。</p> <p>「箱もの」は将来に負の遺産を残していることは世の中の常識であることに対する検討はなされているのか。</p> <p>市の負債をこれ以上増やさないでほしい、一部業者の利益誘導になることに賛成しかねるものです。</p>	<p>本市は、「住みやすさと創造が織りなす文化交流拠点」としての山口都市核、そして「街の快適さと営みが広がる産業交流拠点」としての小郡都市核という2つの都市核を有しており、広域県央中核都市の創造に向けて、それぞれの都市核の特性を生かし、拠点性を高めていくことが重要と認識しています。</p> <p>交通結節点という小郡地域の立地特性を生かし、多様な交流を生み出し、産業創造へとつなげていく仕組みとして、拠点施設には、起業創業支援センターを設置するほか、ホールについても、「イベント機能」のほか、地域経済の活性化を目的とする「展示機能」や、域外からの交流を誘引する「コンベンション機能」の3つの機能を併せ持つ多目的ホールとして整備することとしており、他の公共施設にはな</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
		<p>い機能をもったものとしております。</p> <p>施設の維持管理費については、現時点で年間1億8千万円を想定しており、事業収入を除く市からの指定管理料は年間4千万円を想定しています。</p> <p>このほかに事業運営費が必要となりますが、拠点施設の運営は、広域県央中核都市の創造を目指す本市にとって重要な取組であり、将来の財政負担も考慮しながら、各機能に必要なソフト面の充実について検討を進めてまいります。</p> <p>なお、この取組は将来の山口市の発展のために行うものであり、一部業者の利益誘導につながるものとは考えておりません。</p>
意見者5 (1件)	<p>駅前に多彩な多くの研修施設が誕生する計画に対し、それをすすめておられる関係者の方々に敬意を表します。</p> <p>そのような施設の必要を感じ期待する市民として、以下意見を述べさせていただきます。</p> <p>重点エリアは、まちがいなく街の顔となり、山口の勢いを感じとっていただける場所です。言うまでもなく、山口の地は、個性の躍動とつながりによって新しき面白き世・維新をもたらしたところ。松陰先生はあのあたたかな家庭の『育み』にあったからこそ苦難へ立ち向かえ、毛利敬親殿さまの「そうせい」による励ましと『育み』あって萩藩幕末志士の大活躍がもたらされたこと。そのような前提にあまり目が向けられないかもしれませんが、核心の部分です。山口人の誇りにする維新とは、『育み』の賜物なのです。</p> <p>このようなことから、この地の重点エリアこそが『育み』の時代へ向かう策源地とならんことを私は切に願います。</p> <p>そして、まちづくり方針あつてのエリアゾーン整備であれば、町民の誇りとさわやかな風を感じます。(『育みのまち』という風なキーワードを掲げまちづくりをすすめてほしいものです)</p> <p>駅前通りの先は、風雲流水の山頭火が過ぎた町民の山。改札口を抜ければ山面の通路。ならば施設群の当然緑地に似合う構造物を期待します。</p>	<p>公園の整備にあたり、将来を担う子どもに焦点を当てて検討を進めていくことは重要な視点と認識しています。</p> <p>また機能面においても、拠点施設利用者の憩いの場として快適な空間を整備することはもちろんのこと、子どもを含めたあらゆる年代の方々に親しまれる公園整備を目指していきたいと考えており、子どもたちが自ら遊びを考えるような仕掛けなど、具体的な整備内容について、今後さらに検討を重ねてまいります。</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
	<p>前文長くなりましたが、エリア全体環境面で、以下具体的に述べさせていただきます。</p> <p>施設の周囲に子ども（特に乳幼児）を育み緑地公園施設の充実が大切であると思います。それは（全国からわざわざ）山口へ人を呼び寄せるためのインパクトになるはずで、公園も出来過ぎた施設構造物でなく、明るい農村をねらったくらいの「おぼろ月夜」漂い、元気な生産者や手入れ人の声が変わる空気があればうれしい。日本の地面に消えつつある棚田（長谷インター入口に見えるすばらしい景色！）や蓮田（昔の小郡に多くあった農地）をコンパクトに演出されたい。そして子どもの歓声。水辺も良いが、維新公園児童センターにあるような出来過ぎた親水ゾーンはあまりおもしろくない。</p> <p>公園地面は、土面も適度にあり木ブロックや枕木を埋め込んだ線路（林間を縫うようなワクワク感）をデザインし、そこに新山口売店でしか手に入らない簡単組み立て「箱列車」に乗りこんで線路を走って遊ぶ・・・こんな原始的な遊びこそ小さな子どもを虜にするのです。それは親子で楽しみ、その姿に子育ての喜びに親のみならず社会全体が気づく。そのように子どもライブがあってこそ、育み空気いっぱいにあふれたものになろうかと思われま。育みのエリアゾーンを期待します。</p> <p>重点エリア拠点施設整備の成功によって「新山から日本の少子化は止まり、一段高い維新が動き出す」。</p> <p>期待します。</p>	
意見者 6 (1 件)	<p>Aゾーンにおいて、開発を行う民間事業者が、「民間機能」や「民間施設（提案）」の部分で、市外の資本のホテルを計画すると仮定すると下記の点で、問題があるので、提案に対し、一定の条件を加えていただきたいと考えます。</p> <p>①現在Bゾーンでも地元資本でホテルの計画をしているため、重複するプランとなり、地元商業振興の観点から、問題あると考えます。</p> <p>本来、「山口・小郡都市核づくりマスタープラン」や「新県都のまちづくり計画」においても、「ターミナルパーク構想」と市街地再開発との連動や、既存商業地の活性化の推進は、明記されていますし、本計画においても、Bゾーンを含め「重点エリア」と位置付け、取り組みを進める、と明記されています。</p> <p>②ホテルに関しては、地元資本でも、全国チェーンと同等以上の価値を提供できる企業はあるので、仮にホテルをプランするとしたら、今まで雇用を維持してきたという観点からも、</p>	<p>拠点施設は官民が連携して整備することとしており、民間事業者が参画する機能提案の募集にあたっては、特定の業種を排除することは考えていません。</p> <p>一方、本市は市内の既存産業の成長を支える責務を担っており、平成24年に「山口市ふるさと産業振興条例」を制定し、地域産業の振興に取り組んでいるところです。</p> <p>民間事業者からの事業提案を募集する要項の作成にあたっては、ふるさと産業振興条例の趣旨も考慮しながら、提案内容に地域産業への配慮を促す方策について検討してまいりたいと考えております。</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
	<p>今後の雇用の維持の観点からも、本社機能を地元へ置く地元資本を優先し計画に参加させるような条件整備が必要と考えます。</p> <p>③また、Aゾーンへ域外資本のホテルが進出した場合、単純に、既存の地元ホテルと競合するだけでなく、拠点整備によるメリット優位性を背景にする有利な戦いとなり、結果、従前維持されてきた既存のホテルの営業と雇用を危うくしかねない、という問題点が想定できます。</p> <p>以上のような理由から、民間事業者からの提案については、下記の条件を付帯させる事が必要と考えます。</p> <p>A：ホテル機能は提案内容から外してもら条件を付帯させる。</p> <p>B：仮にホテル機能を提案する場合は、地元資本（*地元資本が建物を所有するという意味ではなく、地元資本が、経営かつ運営するホテル）に限定してもら条件を付帯させる。</p> <p>以上、今回の計画が市民の総意を得て、周辺の民間事業者も潤う、素晴らしい計画となる事を祈念し、意見いたしました。</p> <p>ぜひとも必要な条件面の整備を図っていただきたいと思います。</p>	
意見者 7 (2 件)	<p>施設整備そのものについて異を唱えるものではなく、既に PC で意見も出ているかもしれませんが、施設の内容について可能性があれば検討いただければという思いです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設内に子ども向けの遊戯室を設ける <p>下関駅ビルの屋内遊戯場が大変人気であると聞きました。私も一度行ったことがありますが大変賑わっていました。自分も子どもがいるのでよく考えますが、山口市内には屋外で遊ばせる場所はよいものがいくつかあるのですが、雨が降った時に遊ばせる場所がありません。維新公園の屋内施設ぐらいでしょうか。雨の日は維新公園は大混雑です。多くの親御さんが屋内施設を望んでおられるのではないのでしょうか。</p> <p>公園整備と併せて、施設内遊技場を設置することで、子育て支援策としての効果も増大するのではないかと思います。</p>	<p>子どもを対象とした屋内施設については、拠点施設に導入する公的機能のひとつとして検討してきたところです。</p> <p>市では子育て支援策として、各地域に「つどいの広場」を整備していることや、拠点施設の他の機能の内容等も考慮し、子育て支援策としての屋内施設を設置することは難しいと判断したところですが、日常的なにぎわいを生み出す観点から、例えばホワイエのようなオープンスペースに親子で楽しむことができるコーナーを設けることや、子どもを対象としたソフト展開等について検討し、拠点施設が子ども</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
	<p>もを含むあらゆる世代から親しまれる施設となるよう努めてまいります。</p> <p>また、今後の民間事業者の提案募集について、現段階では子どもを対象とした施設の提案を否定するものではなく、民間事業者からは幅広いアイデアが提案されることを期待しています。</p> <p>・映画館を誘致する</p> <p>ご存知と思いますが、県庁所在地で映画館がないのは、山口市と奈良市だけと聞いています。文化的活動の一環としても、学生と接していてもこれが市内にない事態はなるべく早く解消すればと日頃思っています。多目的ホールの整備も学生からすれば、有名なアーティストが来やすくなるといった意味で歓迎されるかもしれません。</p> <p>ネックは稼働率になるかと思えます。そこで、民間施設のスペースに映画館を誘致し、日頃はそのスペースで映画上映、収入を上げますが、多目的ホールを使用しない時は、そこに大スクリーンを設けておき、映画を上映するというのはいかがでしょうか。</p> <p>少しでも多目的ホールの稼働率を上げ、かつ、収入にも結びつけるという考えですが、平日のほか、特に学校の休み期間中などは、平日でも子供向け映画を上映すれば、親、祖父母などがついてくるでしょうから、稼働率も上がるかと思えます。</p> <p>子どもが来れば、親、祖父母がついてくるという、最近の遊園地経営の基本戦略といえるのでしょうか。子育てや文化的活動の拠点として賑わいを持たせつつ、収入にも結びつけるというようなことで、制度的な問題も当然あるであろうことを無視した、素人的発想かもしれませんが日頃の考えなどを含めてメールさせていただきました。</p> <p>長々と大変失礼いたしました。市民にとってよりよい施設となりますことを祈念しております。</p>	<p>もを含むあらゆる世代から親しまれる施設となるよう努めてまいります。</p> <p>また、今後の民間事業者の提案募集について、現段階では子どもを対象とした施設の提案を否定するものではなく、民間事業者からは幅広いアイデアが提案されることを期待しています。</p> <p>昨年度実施した民間事業者の参画に関する調査の中で、当該エリアに対する映画館の参画の可能性は低いとの報告を受けており、事業採算性の課題はあるものと認識していますが、現段階では民間事業者からの提案を否定するものではありません。</p> <p>拠点施設に人々が集い、にぎわいに満ちた場所となるためのソフト展開については、ご意見をいただきました映画上映も含めて検討してまいります。</p>
意見者 8 (13 件)	<p>実施計画全般</p> <p>この実施計画は、具体的な仕様や主体が明確でなく、イメージが中心であり、「実施計画」と言うよりも「実施方針」と言うべき内容である。業者の提案で計画を具体化した後に、改</p>	<p>本計画案では、拠点施設を P F I 的手法により整備する方針としており、官民が一体となって取り組ん</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
	<p>めて「実施計画」としてパブコメを行うべきだと思われる。</p>	<p>でまいりますので、施設の仕様については、民間事業者からの自由な提案を促す観点から、幅を持たせたものとしています。</p> <p>本事業は、民間事業者が自らリスクを負い、民間施設の整備を含めて本事業に参画するものであり、民間事業者の提案を受けた後に公共施設に変更が生じることは、事業全体の成立に影響を及ぼすことから、パブリックコメントの実施時期は今回が適切と判断しています。</p>
	<p>実施計画P9. 10 市街地整備</p> <p>BゾーンやCゾーン高層住宅の整備方針を示しているが、にぎわいを創出するべき地域内に住宅を整備するのは、効率的な土地利用を阻害するおそれがある。たとえば、拠点施設での大規模イベントの際に、運搬車両や貸切バス、来場者等の喧騒により、居住者から騒音、照明に対する苦情が殺到するおそれがある。拠点施設が実際にどういう人によってどういう使われ方をするのかという視点が、実施計画に必要と考える。</p>	<p>市街地形成に向け、人々が住みやすい環境を整えることは重要であり、BゾーンやCゾーンに新たな住環境が整備され、重点エリア内に市街地が形成されることは望ましいものと考えております。</p> <p>騒音等については、関係法令に基づいて適正に対処することはもちろんのこと、イベント開催等による一時的な交通渋滞の発生等に対しては他の施設と同様、係員を配置するなどして対応してまいりたいと考えています。</p>
	<p>実施計画P9. 10 市街地整備</p> <p>Cゾーンは「民間主導による市街地整備」、「民間事業者を積極的に誘導」とあるが、実際に、開発の引き合いが来ているのか。アパート、マンション、コンビニ、駐車場などによる細切れの土地利用になるおそれはないか。</p>	<p>Cゾーンは、エリア内道路の新設の他、AゾーンやBゾーンと併せた景観形成への配慮にも取り組むこととしていることから、今後、民間事業者の進出意欲は高まっていくものと考えていますが、現時点においては民間事業者による私有地の具体的な開発については聞き及んでいません。</p> <p>Cゾーンの土地利用のうち、特に市有地について</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
		<p>は、周辺の土地を取得し、一体的な土地利用や民間事業者の積極的な参入を促すこととしています。このほか、都市計画制度の活用を通じ、適切な土地利用を促したいと考えています。</p>
	<p>実施計画P10.14 エリア内道路の新設 AゾーンとC2ゾーンの境付近にある跨線橋はどうなるのか。拠点施設完成後、この跨線橋を使って駅の南北を行き来する車両が増加すると思われるが、老朽化し、かつ、離合もできない跨線橋では、事故やトラブルが増加し、ひいてはターミナルパーク全体のイメージダウンにつながる。このまま放置するのではなく、架け替え等、抜本的な対策を講ずるべきである。</p>	<p>重点エリア内の道路については、南北間の往来を含む広域的な交通処理を担うアクセス道路や県道江崎陶線、当該地区内の交通処理を担うエリア内道路として位置づけられている中で、跨線橋を含む市道は、これまでどおり、生活道路としての役割を果たしていくものです。</p> <p>なお、跨線橋を含む市道については、引き続き適正な維持管理に努めることとしています。</p>
	<p>実施計画P17.42 生活文化創造 「高等教育機関との連携による学びなおしの場」とあるが、カルチャースクールのような施設なら、もっと人口が集積した市街地の方が立地に適しているし、サテライト教室なら、県のセミナーパークでも対応できるのではないか。</p>	<p>高等教育機関の活動拠点としての「知の創造空間」は、学びの場としてのサテライトキャンパス機能を導入することはもとより、産学官連携の拠点として機能することも想定しており、コワーキングスペースなどの産業支援機能と連携を図ることによって、新しい知恵や創造性が生み出されるなど、より高い効果が期待できることから、起業創業支援センターと同じ施設内に設置し、拠点化を図ることが重要と考えています。</p>
	<p>実施計画P18.21 官民連携の視点 県の玄関口とあるが、計画の基調は、これまでの説明と異なり、県民レベルよりも市民レベルの利用を想定しているように見受けられる。それならそれで、市民の具体的な意見を個別に聴いてほしい。たとえば、音楽やダンスの練習を想定した「アクティブスタジオ」を作</p>	<p>アクティブスタジオは、市民の皆様はもとより、多様な価値観を持つ人々が集まり、活動する場づくりを目指しており、整備にあたっては、実際に活動</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
	<p>るのなら、本当に利用に適した施設とするため、市内の楽団やダンスチームの意見を聴く必要があると思う。</p>	<p>しておられる方々のご意見を踏まえながら検討してまいります。</p>
	<p>実施計画P20. 25. 26 公共施設 「インキュベートルーム」「ワーキングスペース」などカタカナ言葉が並んでいるが、コンサルの作文で「あったらいいな」レベルの施設という印象である。「こういうものが新山口駅前にてきたら利用する」等、企業の具体的なニーズの裏付けがあるのか。</p>	<p>起業創業を支援する仕組みづくりの重要性については企業関係者からも意見を伺っているところですが、採算性の面から地方都市においては民間事業者による実施が困難であると考えており、将来のまちづくりに必要な投資として、公共施設として整備し、政策的に取り組んでいくこととしています。</p>
	<p>実施計画P20. 30. 58 多目的ホール 県の玄関口としてふさわしい施設としては、少なくとも米子コンベンションセンターレベルの仕様が必要と思われるが、拠点施設の建築費は74億円で、米子（139億円）の半分程度である。これは、相当簡素かつ軽易な施設・設備になることが予想され、一流のコンサートや全国規模の大会などが可能な舞台機構や音響・照明設備といった、高度で充実したスペックが期待できない。そこで、起業創業支援センターなどは市で整備するとしても、ホール機能は市の計画から外し、国や県の手で整備するのが適当と思われる。</p>	<p>ホールは地域経済の活性化を目的とする「展示機能」、域外からの交流を誘引する「コンベンション機能」、市民の皆様の利活用も視野に入れた多彩なイベントの受け皿となる「イベント機能」の3つの機能を併せ持つ多目的ホールとして整備することとしており、「産業創造」、「にぎわい創造」、「生活文化創造」の視点に立ったさまざまな用途に対応できるものとしており、地域経済の活性化のほか、広く市民の皆様にも親しまれる運営といたします。</p>
	<p>実施計画P20. 30 多目的ホール 新山口駅前の土地は、県内でも有数の発展可能性を秘めた最後の一等地であるから、企業関係者だけでなく幅広い一般県民も対象にして、県の玄関口にふさわしい、劇場も含む充実した交流施設を整備するのが適当と考える。</p>	
	<p>実施計画P20. 30 多目的ホール 以前「メッセ・コンベンション施設」と言っていたものが「多目的ホール」に変わっている。「ホール」と言うと、劇場型の施設も含む広い意味になり、適当でない。平土間式にこだわるなら、その用途や機能に沿って「展示・イベントホール」と表記するべきである。</p>	

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
	<p>実施計画P21.39 アクティブスタジオ 市民が利用できる施設を作ること自体は悪いことではないが、山口県に残された最後の一等地とも言うべき新山口駅前、もっと全県的な利用を視野に入れた計画とし、国や県の手で、全県民を対象にした、劇場を含む交流施設を整備するのが適当と考える。</p> <p>実施計画P21.39 アクティブスタジオ 実際に、市民が利用できる施設を作るのであれば、市内の活動団体の意見を聴いてほしい。市民楽団や劇団等、どこの団体も、防音対策のされた、機材を保管できるような広い練習会場がなくて困っている。市民ニーズとして、小部屋だけでなく、150㎡程度の大練習室が必要である。</p> <p>実施計画P22 民間施設 民間施設としてマンションやサービス付き高齢者向け住宅の整備を想定しているが、業務機能や交流機能を集積する地区になぜ居住機能を持ってくるのか。拠点施設で大規模イベントを開催する際に、多数の運搬車両や来客の自家用車、貸切バス、イベントの音響や照明に対して、居住者から騒音、照明等の苦情が出るおそれがある。ひいては、主催者に敬遠され、拠点施設の利用の低下につながる。小郡の市街地は大きくなく、住宅用地は重点エリア外にいくらでもあるのだから、わざわざ新山口駅前に誘導するべきではない。居住機能の本地区への誘導はやめるべきである。また、エリア内の公営住宅には防音対策を施し、イベントの誘致に支障にならないように対策するべきである。</p>	<p>アクティブスタジオは、市民の皆様はもとより、多様な価値観を有する人々の創造的な活動や文化的な活動の場として整備するものであり、生活が豊かになる、楽しみのある施設を目指しています。仕様については今後もさらなる検討が必要と考えており、民間事業者のアイデアや市民の皆様のご意見も踏まえながら、ニーズにあった施設整備に取り組んでまいります。</p> <p>昨年度実施した民間事業者の参画に関する調査では、居住機能の需要が高いとの報告があったところです。Aゾーンに導入する民間機能について、市としては、「にぎわい創造」につながる施設を期待しているところですが、現段階では民間事業者の参画の可能性を広げていく観点から、居住機能を備えることについても否定するものではありません。</p>
意見者9 (3件)	<p>1. 山口市の平成24年度の一般会計決算額約770億円のうち歳出は義務的経費(人件費・扶助費・公債費)358億円、投資的経費151億円となっている。歳入は自主財源308億円(うち市税257億円)、交付税168億円、地方債126億円、その他168億円となっている。</p> <p>義務的経費のうち、人件費及び公債費は減少傾向にあるが、扶助費は増加している。歳入のうち自主財源の根幹である市税は、平成21年度以降は減少傾向にあり、今後、生産年齢人口の減少等により増収は見込めない状況である。地方債残高も約961億円になっており、財政運営は厳しい状況にある。</p> <p>今回の公共施設等総合管理計画(案)では、今後40年間の年平均の維持更新費56.4</p>	<p>本格的な人口減少社会への移行や社会経済情勢が厳しさを増す状況において、持続可能な山口市を創造していくためには、自立可能な圏域の形成が不可欠であり、小郡地域の立地特性を生かし、新たな交流を生み、新たな仕事を作り出し、小郡地域や市全体に活力をもたらす仕組みづくりが必要と考えています。</p> <p>拠点施設整備は、持続可能な山口市を創造するために必要な取組として実施するものであり、将来の</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
	<p>億円が必要としており、現在の公共施設等への投資額42.5億円と比較すると毎年13.9億円不足すると試算している。</p> <p>このような試算結果を思慮すると、山口市の財政運営は、今後厳しくなると予想される。</p> <p>このように厳しい財政見込みが予想されるのに、概算工事費95億円（うち地方債79億円）の財政支出を必要とする新山口駅北地区重点エリア拠点施設整備の実施は、多額の地方債を累積することになり、地方債の償還額が増大し、そのしわ寄せが市民への行政サービス水準の低下や税負担を増加させることが推測される。</p> <p>よって、山口市は新山口駅北地区重点エリア拠点施設整備の事業主体となって実施すべきではない。</p> <p>2. 次の理由により、新山口駅北地区重点エリア拠点施設整備は山口県が事業主体となって、実施すべきと考える。</p> <p>①新山口駅は山口県の「玄関口」と位置づけられる。</p> <p>②本施設整備のコンセプトとなっている「産業創造」の政策は、山口県が県内全域の経済現況を把握して、産業政策を決定すべきであり、新山口駅北地区の施設整備には山口県が主体的に関与すべきである。</p> <p>山口県が本事業の整備主体として実施するにあたって、施設のうち「産業創造」関連施設（起業創業支援センター・多目的ホール・テナントオフィスなど）は、山口県が実施。</p> <p>山口市は「にぎわい創造」・「生活文化創造」関連施設（アクティブスタジオ・飲食物販テナント）を実施。</p> <p>という区分けをして整備を行うべきと考える。</p> <p>3. 多目的ホール2000人規模は、山口大学へのアンケート調査などで需要が確認されている1000人規模に変更すべきである。</p>	<p>まちづくりに寄与するものと考えています。</p> <p>なお、県の参画については、これまでも継続的に協議を重ねてきたところですが、今後も引き続き協議・調整を重ねてまいります。</p> <p>ホールの規模は、「イベント機能」、「コンベンション機能」、「展示機能」の3つの機能展開に十分対応可能な規模であることや、一定の稼働率が見込める事業性の高い規模であること、さらに民間事業者との一体的な整備を考慮し、拠点施設全体としての事業効果が発揮できることなどを総合的に勘案した結果、2千人程度が収容可能な多目的ホールとして整</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
		理したところです。
意見者 10 (4 件)	<p>①拠点施設について</p> <p>「おごおり第2次地域づくり計画」の住民アンケートを見ると新山口駅は通過点、又は乗継駅との認識が多かった。</p> <p>JR利用者が待ち時間を利用してAゾーンで時間を潰せる施設を作ることによって新山口駅が目的としての駅になるかもしれない。</p> <p>例えば、現小郡の図書館と棲み分けできる図書館を作る。雑誌、漫画、新聞、DVDなど短時間で利用できるものを置くなど。</p>	<p>現時点では、図書館としての機能を導入する計画はありませんが、市民の皆様が気軽に来館し、自由な時間を過ごしていただくために、運営面においても工夫を凝らし、魅力的な施設となるよう検討していきたいと考えています。</p>
	<p>②拠点施設の駐車場について</p> <p>Aゾーンの波及効果としてBゾーンが発展するには、新幹線口には多くあるが、在来線口には少ない駐車場を増やす必要があると思う。「施設の配置イメージ図」では駐車場が駅から一番遠くにあるが駅から近くにも配置してBゾーンの飲食店利用者用等の駐車場が欲しい。</p> <p>(例：1時間100円・最大500円程度の安い料金設定、それでも月極より高収益です。)</p> <p>駐車場はできるだけ多く欲しい。民間駐車場の経営を気にしているかもしれませんが、個人的には高い料金の民間駐車場が売却されて商業施設に生まれ変わった方が街の発展につながると思う。</p>	<p>拠点施設のフロア構成イメージについては、民間施設との合築方式や分棟方式など、多様な提案の可能性をお示しする意図で掲載しています。このため、まちのにぎわいを生み出す動線も含め、具体的な施設配置については、民間事業者からの提案を受けることとしています。</p> <p>また、市が整備する駐車場は、拠点施設の公共施設分として400台を整備することとしており、民間施設の利用者に係る台数については民間事業者の提案に委ねることとなります。</p>
	<p>③唐樋川整備について</p> <p>唐樋川の整備をBゾーンまで延長して欲しい。</p> <p>川沿いを散歩すると自然とBゾーンまで行けるようになるとその周辺に街の変化が起きてくるかもしれない。</p> <p>また、一の坂川のようにイベントができるような川になるといい。</p>	<p>唐樋川は、雨水排水用の都市下水路であることから、市としては親水性より雨水排水機能の向上を重視しているところです。</p> <p>一方、重点エリアの整備にあたって快適な空間を形成する観点から、川沿いも含めた修景整備は重要であると認識しており、現在はアクセス道路とエリア内道路を挟む90mの区間について、植樹などの</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
	<p>④その他</p> <p>国は地方創生を推し進めているが県は山口県の陸の玄関口と言われている新山口駅及び周辺整備にノータッチなので、どうか県にも協力依頼して欲しい。</p> <p>市が協力依頼しても県が相手にしてくれないのなら、地元県議会議員の後援者から接触してもらおうのも一つの手かもしれませんが…</p>	<p>修景整備を検討しており、隣接する広場整備と併せ、イベントも開催可能な空間にしていきたいと考えています。</p> <p>また、Bゾーン内における唐樋川沿いの道路部分については、歩行者動線や回遊性も考慮しながら、周辺景観と調和の取れた修景整備を検討したいと考えております。</p> <p>拠点施設整備への県の参画については、これまでも継続的に協議を重ねてきたところですが、今後も引き続き協議・調整を重ねてまいります。</p>
意見者 11 (5 件)	<p>一 山口市政の課題との関連からみて、正当な計画であるのか</p> <p>山口市は、今後、公共施設の老朽化に見舞われ、膨大な費用をかけて建て替えなどを行う必要があるとされています。その中では、保育所など子育て支援に不可欠な施設が民営化などを口実に廃止される可能性も示唆され、介護事業に不可欠な特別養護老人ホームの新設は見送られたままです。「保育所切り捨て、特養ゼロでも、95億円の拠点施設は必要なのか」という疑問は必ずでてきます。この疑問にきちんと答えることができなければ、この計画の正当性への承認を得ることはできません。</p>	<p>拠点施設の整備は、交通結節点、ネットワーク拠点という小郡地域の立地特性を生かし、多様な「交流」を促すとともに、交流によって新たな知恵や創造性が生まれ、「産業創造」や「にぎわい創造」、そして「生活文化創造」へと広がっていく仕組みをつくることで、地域に仕事を生み出し人口定住を促進する、地方創生にもつなげる必要な政策的投資として実施するものです。</p>
	<p>二 県が行うべき事業は県に要求すべきである</p> <p>小郡は「広域高速交通網の結節点で本県の陸の玄関」と位置づけられ、広域県央中核都市の都市核とされています。県央経済圏を牽引する産業の集積点にふさわしい拠点施設をつくるという本事業は、その性格上県が主導すべきものではないでしょうか。山口市は県央の社会・文化・経済の中心であり、その中核都市になるといくら大声で主張しても、萩や宇部や周南、防府などとの具体的な連携計画も組織もないままでは机上の空論です。だからこそ、</p>	<p>県の参画については、これまでも継続的に協議を重ねてきたところですが、今後も引き続き協議・調整を重ねてまいります。</p> <p>また、起業創業支援センターは、起業創業を志す人や、起業創業の初期段階にある人などを主な対象</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
	<p>拠点施設を整備して、具体化をすすめるというのであれば、論理が逆転しています。県との交渉はすすんでいると言明されているのですから、起業創業支援センターや多目的ホールなど、大半の施設は県がつくるべきと考えます。とりわけ、宇部にある県の産業技術センターは産業技術中心とはいえ、産業交流部門で蓄積されたノウハウや機能を起業創業支援センターに移転する措置は考えられなかったのでしょうか。同施設と計画中の起業創業支援センターの機能や役割がどう違うのかなどの説明は当然あってしかるべきで、それが無いことは、県との連携が全く不十分にしか行われていない事を逆証するものです。全国的にも、市と県の二重行政のムダが発生することに強い批判の目が向けられています。そうした批判を念頭に置かない計画案であっては、門前段階で中止されるべきではないでしょうか。</p>	<p>として、専門家による相談機能を中心に総合的な支援を行う機関として設置するもので、山口県産業技術センターとは異なる役割を担うものです。</p> <p>起業創業支援センターの運営にあたっては、山口県産業技術センターをはじめ、他の産業振興支援機関と連携補完体制を構築してまいります。</p>
	<p>三 小郡住民の要望は生かされる施設となるのか</p> <p>本事業が産業機能集積に重点が置かれていることは、様々な問題点を引き起こします。例えば会議室などは住民が安く利用できるような料金設定となるのか、など「できれば住民と無縁の施設だった」ことになるようでは困ります。もともと3000人収容のメッセコンベンション計画がその無謀さを指摘されて見直しとなったのですから、全体として1歩前進の側面はあっても、小郡住民の要望にしっかり立脚した施設とはなっていません。</p> <p>小郡には住民が「憩える場」が圧倒的に足りません。その意味では、公園面積をぐっと広げ児童センター的機能やSL記念館的機能を充実させた方が遙かに安上がりで、市民に歓迎されるものになるのではないのでしょうか。</p> <p>また、山口市民会館より大きな2000人収容の多目的ホールをつくるという計画も過大と言えます。計画案のホール規模の比較をみても2000人規模では「学会の具体的な需要は確認できていない」など利用度には不安を残しています。1000人程度の収容で十分市民の要求にこたえることができるし、会議室数も確保できると思われれます。</p>	<p>拠点施設は新山口駅周辺に「新たな交流」を生み出すことを大きな役割の一つとして位置付けており、地域の皆様に利用いただく施設であると同時に、広く県内外の人に利用いただき交流人口の増加を促す施設となることを目指しています。</p> <p>整備にあたっては、公園やホワイエなどの気軽に利用できる空間を設け、唐樋川沿いの修景整備も併せて行うなど、周辺も含めた憩いの場を創出するほか、多目的ホールについては、「イベント機能」、「コンベンション機能」、「展示機能」の3つの機能を果たせる2千人程度を収容可能なホールとします。</p> <p>運営にあたっては、市民の皆様に親しまれる施設となるよう取り組んでまいります。</p>
	<p>四 PFI的手法への疑問と具体的な対策の必要性</p> <p>本事業はPFI的手法で行うとされています。これは資金は市が提供し、民間業者が設計・建設・維持管理まで一括して請け負う方式です。これによって民間業者のノウハウが生かされやすく、事業スケジュールの短縮ができるという利点があるとされますが、市民の税金が</p>	<p>本計画を策定した後、民間事業者からの提案の募集に向けて募集要項や要求水準書等を作成することとなりますが、その中で事業の条件を明示してまい</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
	<p>民間業者にいいように食いものにされかねないという欠点もあります。</p> <p>山口市はかつて学校給食の民間委託を計画したことがあります。その際、委託に際して雇用条件などに口出しできないと市は説明しました。ところが、北九州市は派遣や臨時などの雇用は望ましくないとして雇用の条件を明示していました。雇用条件がおいしい給食づくりに不可欠であることを考えれば、山口市の姿勢は常軌を逸して民間業者寄りだったといえます。民間業者にすれば、厳しい条件でも学校数の多い北九州市では経営が成り立つが、学校数の少ない山口市では安い労働力が利益を生む必須の条件と考えたのでしょう。</p> <p>このように競争が存在しない場合には、民間業者の言いなりになるという危険性を伴います。本事業は、たくさんの業者が手を挙げ、より安く市民の要望に添った事業をやろうとする競争が確保されているとは言い難い側面があります。その場合には民間業者が利益をあげるために、過大な規模、過大な資金、過大な運営費を必要とする計画案を立案する危険性が高くなります。すでに、この計画案にその片鱗が伺えるといっても過言ではないでしょう。</p> <p>それを防ぐためには、学校給食の民間委託の際の悪例をきちんと総括して、民間業者にきちんと条件を明示し、それを事前に市民に公表し、意見を聞くことが不可欠です。</p>	<p>ります。</p>
	<p>最後に、実施計画案にはカタカナ言語が頻出します。市民にとっては何を言っているのかよくわからないものとなっています。しかも、こうしたカタカナ言語（当該事業案ではインキュベート、ホワイエ等々）が頻出する計画はいずれも、コンサルタント業者に調査を依頼したものが多くは問題です。素直に考えれば、コンサルタント業者の書いたままを引き写した計画ではないかと市民は思うでしょう。これでは計画の必要性への信頼が大きく損なわれてしまいます。ご一考下さい。</p> <p>市民のための事業となるのであれば、協力を惜しみませんので、意見には丁寧かつ具体的なご回答をよろしくお願い致します。</p>	<p>本計画案は、これまでの調査研究や関係機関との協議状況等を踏まえて、市において検討し、作成いたしました。</p> <p>言葉については、日本語では適当な言い換えが難しいものや、一般的に使われている言葉についてカタカナ語を使用しておりますが、ご意見を踏まえて計画書に用語説明を追加するとともに、今後、わかりやすい説明に努めてまいります。</p>
意見者 12 (1 件)	<p>創業支援関係や文化ホール、会議室などの計画があり、今後の整備を楽しみにしています。</p> <p>小中高校生の子供を持つ母親としての意見ですが、子供たちや若者が集える（週末には自然に人が集まる）場所になって欲しいと思います。</p> <p>主婦の視点では、スポ少や部活などスポーツに興味のある若者（家庭）や週末に芝生広場で幼児とゆっくり過ごしたいという家族は意外と多いように感じます。</p>	<p>拠点施設は、市民の皆様から親しまれ、日常的ににぎわいに満ちた施設となるよう取り組んでいきたいと考えています。そのためには、ハード整備に加え、完成後のソフト展開も重要と認識しています。</p> <p>市民の皆様が訪れたいくなるような魅力的なイベント</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
	<p>「産業創造」「にぎわい創造」「生活文化創造」という3つの創造に沿って、また、地方創生という大きな流れの中で、どこにでもある施設ではなく、「山口市は凄いな」と思ってもらえる人々が集う場になってほしいです。</p> <p>例えば、思い切って「コンパクトな（レノファ山口の）新スタジアム」を中心にした施設（商業施設・芝生広場など）などを駅の近くに整備することで、新山口が新しい山口の拠点になるのではないかと期待します。</p>	<p>トが開催される施設となるようさらに検討を進めてまいります。</p>
<p>意見者 13 (10件)</p>	<p>①連携中枢拠点都市の指定は、県内では下関市である。中枢拠点都市とは、地方の拠点に一極集中の投資を誘導するものであり、本物の「地方創生」にはならない。</p> <p>現在の人口減少は東京への一極集中のみならず、地方においても、地方の中の田舎から、地方の中心部への人口移動もある。そうした「地方の中の田舎」が人口減少から脱却し維持または人口増へと転換しなければ、地方創生は成功しない。</p> <p>②そこで、山口市の「広域県央中核都市」「二つの都市核」への集中投資の陰で、地方創生でより一層関心を寄せ投資すべき「田舎」への投資が不十分のまま、人口減少を食い止められずに終わる懸念がある。</p> <p>③「新山口駅～重点エリア」はそうした観点から、山口市の身の丈に合わない過大な投資ではないだろうか。</p> <p>⑦山口・小郡の二つの都市核に集中投資を行い、この地域で人口を維持させても、周辺部の人口が減少すれば、合併で広大となった山口は里山も維持できず、漁業もジリ貧となり疲弊していくばかりだ。</p> <p>④音楽スタジオはいい試みだと思う。バンド活動を愛好する若者にはとても喜ばれると思う。こうした文化活動に対する要望は強いと思う。</p> <p>そもそも、小郡地域のこの土地には、県民文化会館や市役所新庁舎の建設という小郡地域の住民の要望があったはずだ。市役所の位置問題も検討されていない段階で、この土地への張付けを決めてしまうことは、合併時の信義にもとるものではないだろうか。</p>	<p>本市では、山口・小郡の2つの都市拠点（都市核）に高次都市機能を集積することで地域経済の成長エンジンとしての役割を果たすとともに、各地域の中心的な役割を担う秋穂、阿知須、徳地、阿東の各地域拠点（地域核）との連携・補完により、特性の異なる互いの機能を享受し合い、自立したひとつの圏域として成り立つ「重層的集約型都市構造」によるまちづくりを進めています。</p> <p>その中で、小郡都市核に整備する拠点施設は、起業創業支援センターにおける取組や、市内外から集まる人の多様な交流等を通じて、仕事を生み出し、経済の活性化や雇用の創出、人口定住等の効果が市域及び圏域全体に広がっていくことを目指すものであり、地方創生につながる重要な取組として実施してまいります。</p> <p>新山口駅北地区については、旧小郡町を含む1市4町が合併した際の「新県都のまちづくり計画」（平成16年度）において広域交通・交流拠点として位置付け、県内外の交流を促進する拠点施設の整備を掲げており、その後、「山口・小郡都市核づくりマス</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
		<p>タープラン」(平成 20 年度)、「新山口駅北地区重点エリア整備方針」(平成 21 年度)、「小郡都市拠点の機能強化に向けた整備基本計画」(平成 24 年度)の段階を経て検討を進め、この度、具体的な事業の計画案をお示ししたものです。</p> <p>整備にあたっては、産業振興機能と併せて、市民の皆様が親しまれる機能を備えた施設として整備してまいります。</p>
	<p>⑤産業交流拠点としての役割・機能を持たせることで、雇用や企業活動、地域経済がどのように変化発展するかの指標も示されておらず、さらに民間の提案など、起案した側(市)の自信の無さが伺える。</p>	<p>指標については、起業創業者数の増加や、交流人口経済の拡大に伴う経済波及効果、地域産業の振興や都市イメージの向上に伴う定住人口の増加等が重要な指標になると考えておりますが、今後、投資効果の測定として有効な指標について検討し、お示ししてまいります。</p>
	<p>⑥県の玄関口という枕詞が、こうした過大投資の根拠ともなっているが、県が県の玄関としてどのように位置づけて居るのが全く見えない。県は国の方向性に従って、国際バルク構想で、瀬戸内に関心が移っているのではないか。</p>	<p>県の参画については、これまでも継続的に協議を重ねてきたところですが、今後も引き続き協議・調整を重ねてまいります。</p>
	<p>⑧PFI的手法 巨額の建設費は民間事業者にとっては魅力であろう。あいまいな計画で運営がうまくいかなくても、民間事業者からすれば、儲けの大半は構造物を建設することで生まれる。どこまで到達すれば、民間からの「提案」が成功したといえるのかがあいまいだ。資金を用意するのは行政、建設と運営は民間、結果として「残念な開発」となれば、税金が食い物にされ、市民負担が残ることになりはしないか。</p>	<p>本事業は、PFI的手法により公共施設と民間施設を一体的に整備するものであり、民間事業者は、公共施設について一定のリスクを負うほか、自ら民間施設を整備し運営するリスクを負って、事業を提案することとなります。</p> <p>民間施設が立地することで、公共施設を単独で整備する場合と比べて、まちのにぎわいや地域経済の面でより高い効果が期待できると考えており、官民一体の取組を目指してまいります。</p>

意見者	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
	<p>⑨B・Cゾーンの開発は、民間に期待する事業ということだが、Bゾーンの開発の協議の場は「準備会」のままではないのか。具体的に協議は進んでいるのか。BCに行政はどこまで責任を持つのか。</p>	<p>Bゾーンについては、地元の「新山口駅北地区市街地再開発準備組合」において再開発の検討を進められているところであり、市としても適切な支援を行っていきたいと考えています。</p> <p>また、Cゾーンについては、北側に位置する市有地について、周辺の土地を取得して一体的な土地利用が図られるよう造成工事を行い、民間事業者の参入を促す街区として整備することとしております。</p>
	<p>⑩実施計画はあいまいな計画であり失敗しそうだと言わざるを得ない。95億円の投資が山口市の身の丈に合っているのか。産業交流拠点との位置づけでこれほどのハード（構造物）が必要か。合併特例債目当てに急いで計画をまとめるのではなく、全市民的な合意が取れるような計画に変更すべきだ。いったん白紙に戻し再検討されたい。</p>	<p>本事業はPFI的手法により民間活力の導入を図って実施することとしており、民間事業者からの自由な提案を促す観点から、施設の仕様等については幅を持たせた計画としています。</p> <p>また、本計画案は、「山口・小郡都市核づくりマスタープラン」（平成20年度）、「新山口駅北地区重点エリア整備方針」（平成21年度）、「小郡都市拠点の機能強化に向けた整備基本計画」（平成24年度）の段階を経て作成したものであり、産業振興機能だけでなく、市民の皆様に親しまれる機能も備えた施設として整備してまいります。</p>